



会報



DISTRICT 253
CLUB BULLETIN

月 見

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 12:30-13:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 5775

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

会 長 上 野 三 郎
幹 事 佐 藤 順 治

全人類を 結びつけるために 奉仕せよ

SERVE TO UNITE MANKIND

W. ジャック・デービス

1977~78 国際ロータリー会長

第 930 号 1977. 10. 25 (火) (はれ) No.17

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング (我等の生業)
3. ビジター・ゲスト紹介 会 長
4. 会 長 報 告
5. 幹 事 報 告
6. バナーの紹介 (岡山南R.C) 張 紹 淵 君
7. 秋の行楽家族会の報告 親睦活動委員長 丹 下 誠四郎 君
8. 「金峰山少年自然の家」での宿泊訓練の報告
青少年委員長 菅 原 辰 吉 君
9. ゲストスピーチ
みちのく豆本について 前酒田市図書館長 佐 藤 公太郎 氏
10. 出 席 報 告 出席委員会 高 橋 正太郎 君
11. 点 鐘

■ ビジター・ゲスト紹介

菅原鉄三郎君(雑貨小売)一温海R.C
伊藤春夫君(コンクリート製品製造一酒田東R.C
阿部光男君(塗装業)
中沢秀雄君(請負業)
羽根田正吉君(建設)
井上彬君(建材販売)
加藤広君(電気工事)
半田勇三郎君(生命保険)
斎藤吉雄君(管材販売)

鶴岡西R.C

■ 会長報告

鶴岡ロータリークラブ

会長 上野三郎様

R財団優秀クラブ表彰の件

前略、毎度ながら地区運営につきましては、種々ご高配を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、恒例地区年次大会におきまして、標記のロータリー財団優秀クラブの表彰が行われますが、昨年度会員一人当たり平均の寄附額上位10クラブを対象としましたところ、貴クラブが該当しておりますのでお知らせいたします。

尚、表彰は2日目午後の予定ですので、万障お繰り合せの上、代表者のご臨席を賜われますようお願い申し上げます。 敬具

1. ポールハリスフェローは全員登壇して頂きますのでメダルを右胸につけて下さい。今年度41名です。
2. 準フェローは人員が多いので名前を読み上げにより、その場で起立願います。
3. 20年100%全員登壇13名のうち1名代表として。
4. 10年100%はその場で越立101名。
5. R.I 会長代理を囲みポールハリスフェロー昼食会を開催します。新フェ

ローに出席を奨励して下さい。第一日。

■ 幹事報告

1. 例会日、場所、時間変更

(1) 山形北R.C

来る10月27日(木)の当クラブの例会は家族会のため下記の通り変更

とき 10月30日 A.M 10:30

ところ 新山つり堀

(2) 寒河江R.C

来る10月27日の当クラブの例会は秋の家族会のため下記の通り変更

とき 10月30日(日) A.M 8:00~P.M 5:30

ところ バリハイセンターと秋保めぐり

2. 会報到着

(1) 台中港区R.C (2) 酒田R.C

■ 鶴岡R.C、鶴岡西R.C合同「秋の行楽家族会」

親睦活動委員長 丹下誠四郎 君

1月23日(日)最近好天続きの中にも特に朝から日本晴れの素晴らしい秋日和に恵まれ、鶴岡R.C、鶴岡西R.C合同「秋の行楽家族会」を実施しました。

折しも当日は婚礼、学校、町内、職場その他の行事多く、参加者は極めて少く会員21名、家族14名、交換学生3名、計38名でしたが、却って相互に心の通り親睦を計ることが出来、予期以上の成果を挙げる事が出来ました。

先づバスは太平山下池に到着、湖畔より漸く紅葉を始めた高館山の秋陽に輝く絶景や、之を水面に宿し時折り野鴨の飛び立つ下池の水景等その素晴しさに感嘆、暫し離れ難く観賞する。次いで「いこいの村庄内」に向い、途中砂丘より鳥海、出羽三山の秀峰、金峰、母狩の山々の紅葉、黄金の稲穂も刈り取られ黒一色に静かに展がる庄内平野を展望。「いこいの村庄内」では案内書によりその施設の概要を知り、婚礼の多用の中、特に案内してくれた係員の説明に館内を一巡、会議場、浴場、宿泊室等意外な豪華さに一驚、フロアーの心地よいソファーに小憩の

後、湯野浜海岸をドライブ、珍しく波静かな日本海、澄み切った大空、岩場に遊ぶ大公望、小公望を眺めながら加茂水族館に到着。小はタツのオトシゴから大は鮫、ぶり、鯛等又淡水魚、熱帯魚等々、大、小、色、形とりどりの魚類を興深く觀賞し、ペンギン、アライグマ、アシカ、ペリカンや喧騒そのものの猿山等屋外施設に遊び、屋上或は加茂海浜公園からの荒崎灯台、加茂磯、湯野浜の遠景、海に裾ぬらし紅葉秋陽に輝く鳥海の秀峰等展望、お互に感嘆の声を交わしながら心ゆくまで「秋の行楽」を楽しむ。

12:20素晴しかった半日の行楽を終え、加茂港を一望に見る浜茶屋 石野屋に到着、小カレイの焼物、イカの刺身、芋子汁等々食欲をそそる料理の並ぶテーブルを円座に囲み、両会長のご挨拶、84才にして尚嬰鑠たる石寺会員の音頭で乾杯に和やかな宴に入る。日本晴れの秋天のもと、半日の行楽にほんのり汗ばみ、頃よく空いた腹、渴いた喉に飲み込む酒肴の味は又格別。宴途中にして順に自己紹介、之によって更に続く宴は一層の和みを加え、会員・家族共々にうちとけての歓談、十分に親睦を深め酔をつくしました。

15:00一同手に手をとって輪をつくり「手に手つないで」を合唱し満足を満面に帰路につく。

交換学生3名の参加は本会をより有意義なものとし、御配慮下さった鶴岡西R.C五十嵐卓三会員並びにその他の方々に深く感謝申し上げます。

■「金峰山少年自然の家」での宿泊訓練の報告

青少年委員長 菅原辰吉君

去る10月22日(土)、23日(日)の両日青少年奉仕活動の一端として金峰少年自然の家で合宿訓練を致しました。

夏休み等どこへも連れて行かれた事のない恵まれない小学校生徒51名、ローターアクト、インターアクトを入れて付添い8名計59名で行なわれました。予め計画された活動計画によりキャンプファイヤー、天体観測、野外炊飯、追跡ゲーム等全部遂行しました。自然の家の職員の話では今度の生徒は実によく働く、又積極的に喜んで行事に参加するとおほめの言葉を頂きました。

“新しいお友達を作りましょう”という活動目標も随所で達成され有意義に終了致しました。

会長、幹事、三井君、中江君、小松君、石井君の各ロータリアンの参加を頂き、又インターアクト、ローターアクトの諸君の並々ならない御協力により立派な成果をあげ得た事を感謝して御報告と致します。

■ ゲストスピーチ 豆本18年のあゆみ

佐藤 公太郎 氏

百部限定の季刊、年会費 400 円で昭和32年 8 月に発足した当時は、せめて 3 冊位出さないことには申しけないと云う気持だった。

みちのくの港町にとぼした灯火が、会員の支援を得、同人の協力を得て意外にふくれ上り、昭和40年「朝日新聞」の全国版に紹介されるに及んで、一躍 680 部に増え、その後も会員の申込みが絶えず現在会員の実数 900 人を越している。郷土資料等の刊行66冊、これが評価されてこの度茂吉文化賞を受賞することになったが、装幀の十弥さん、校正の藤井英治さんを始めスタッフの方たちの欲得を離れた援助と、無償で執筆を快話された著者の方々、それに不平を云うことも忘れて黙々と手助けを続けて来た家族の苦勞が実ったもので、受賞はそれらみんなの方たちのものである。みちのく豆本はこうして沢山の人の善意に支えられてここまで来た。これからもそれは続けられるであろう。

やがて70冊、好きで始めたこの仕事、いつまでも続けて行きたい。
今後の御発展をお祈りいたします。

一 口 情 報 (シリーズ No. 3)

ロータリの理想と友愛より

ロータリー情報委員会

職業指導専門家の所説によるに、合衆国の職業人中適材適所についているものは百人中僅かに 4 人に過ぎぬと言われている。此の説果して真に近しとすれば、これが改善は限り無き幸福の到来を意味するものであろう。

己の職務より何らかの示唆又は感激を受けざるものありとすればはなはだ憐むべき人間である。ガリレオ、ダンテ、シェークスピア、ゲーテ、パスツール、エディソン等の人々は、総て心が物欲を離れていたのである。凡そ社会の幸福または理解の向上に資せる最高級の貢献というものは、もとより金銭的報酬を伴わぬものであった。即ち卓越せる巨人の作為は、皆これ奉仕の新原野を開拓しようとする熾烈なる情熱の鼓舞する所であった。メーテルリンクの「青い鳥」は、自己を離れて奉仕から生ずる幸福を愉快に描いて居る。奉仕の生活は幸福の生活である。ここに一つの家庭に 2 人の子供があり、その一人は他の一人に仕えるように

躰けられたとする。両親が意識すると否とにかかわらずその結果は仕える事を学んだ方が後年総ての福を享けることになる。奉仕の中にこそ幸福は存在するのである。限りなき人間の行動にはあらゆる種類の奉仕を在る余地があるではないか。近年の名著たるハーヴェー・アレンの **Anthony Adverse** にも「自己を奉仕に没頭するまでは人生の終了を告げるものではない」とある。

職業教育の専門学校は、人格が将来の成功を建設する最も信頼すべき基礎であることを教える。すなわち成功は提供する奉仕の質によるということである。

■ 出席報告

本日の出席	会員数	70名	欠席者	皆川君、阿部(公)君、早坂(徳)君、半田君、飯白君、石川君、板垣(俊)君、玉城君、風間君、石倉君、三井(徹)君、中野(清)君、斎藤(得)君、板垣(広)君、佐藤(伊)君、鷺田君、高橋(良)君、谷口君、藪田君
	出席数	51名		
	出席率	72.86%		

前回の出席	前回出席率	70.00%	メイクアップ	佐藤(忠)君一酒田R.C 佐藤(衛)君一立川R.C 高橋(耕)君一温海R.C 皆川君、阿部(公)君、石川君、市川君、板垣(俊)君、玉城君、黒谷君、小池君、小松君、森田君、丹下君、金沢君一鶴岡西R.C
	修正出席数	64名		
	確定出席率	91.43%		